

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

首席客演指揮者

ユライ・ヴァルチユハ

Conductor: JURAJ VALČUHA

マーラー 交響曲第6番 イ短調 「悲劇的」

MAHLER: Symphony No. 6 in A minor, "Tragische"

読売日本交響楽団 第661回 定期演奏会

2026 9/8<火>19:00 サントリーホール

S ¥8,800 A ¥7,700 B ¥6,600 C ¥完売+

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時-18時・年中無休)

YNSO Subscription Concert No. 661

Tue. 8 Sep. 2026, 19:00 / Suntory Hall

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網

読売テレビ、読売日本交響楽団

助成: 文部科学省 文化庁文化芸術振興費補助金

(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

| 独立行政法人日本芸術文化振興会

協力: アフラック生命保険株式会社

“マーラーで 重要なのは弱音です”

鬼才ヴァルチュハの洗練された知性が奏でる
繊細な内面と深い精神性。
そこには、新たな作曲家像が浮かび上がる。

ユライ・ヴァルチュハが初めて読響に登場したのは2022年8月、振ったのは
マーラーの交響曲第9番だった。その時の繊細なピアノシモの美しさといったら！
大音響でオーケストラを鳴らすのが至上の喜びだった作曲家の意外な素顔を見た思いがした。

ヴァルチュハはこう語る。「マーラー作品で重要なのは弱音です……本当に大切なことは
小声で話されるものです」。洗練された知性は大言壮語を好まない。
表面的な華美を避け、音楽の本質を見極めようとする誠実な姿勢は、首席客演指揮者に就任後の
2024年5月に振ったマーラーの交響曲第3番でも際立っていた。
「私にとって指揮と作曲は車の両輪」と話すほど作曲に精通し、最初に指揮したのは
自作だったという。指揮者でもあったマーラーを特に好きな作曲家に挙げ、集中的に
取り上げているのは自然なことだろう。

昨年8月には「大地の歌」を指揮したヴァルチュハが今回選んだのは交響曲第6番
「悲劇的」だ。どちらかという過剰な想念から距離を置き、ニュートラルで透明な
響きから音楽を組み立てていくタイプだけに、作曲家が音に込めた思いをどのように
拾い上げていくのか。興味は尽きない。

中欧の小国スロヴァキアに生まれたヴァルチュハは、音楽の都・ウィーンを擁する
オーストリアや偉大な国民楽派の先達を輩出したチェコとは違う、独特の感性を
持っている。一言でいえば、小国ゆえの控えめな性格だろうか。語り口は謙虚だが、
その内容は深い精神性に通じている。特に音楽を分析・解釈する際のバランスの
良さと入念で細やかな表現への指向は、独自の魅力を生み出している。

ヴァルチュハのマーラーを聴けば、この作曲家が本来、いかに繊細で内向的な
芸術家だったかがわかる。交響曲第6番に込められた、英雄的な身ぶりに彩られた
自己告白には、悲劇とも自己憐憫ともつかない屈折した内面が反映されている。
そうした錯綜した感情を見事に体現してくれる一夜になりそうだ。



首席客演指揮者 ユライ・ヴァルチュハ

2024年4月から読響の首席客演指揮者を務めるスロヴァキアの鬼才。
ブラチスラヴァで作曲と指揮を学んだ後、サンクトペテルブルクとパリで
学び、ムーシラに師事。フランス国立管デビューを皮切りに欧米で活
躍中。これまで、イタリアのRAI国立響の首席指揮者、ナポリ・サンカル
ロ劇場の音楽監督、ベルリン・コンツェルトハウス管の首席客演指揮者
などを歴任。現在、ヒューストン響の音楽監督の任にある。ベルリン・
フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管、ドレスデン国立歌劇場管、
ニューヨーク・フィル、ウィーン響、ミュンヘン・フィル、シカゴ響など一
流楽団を振り、高い評価を得ている。オペラでもベルリン・ドイツ・オペ
ラ、バイエルン国立歌劇場、ボローニャ歌劇場などで活躍している。

読売日本交響楽団 第661回 定期演奏会

2026年 9月8日(火) 19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥8,800 / A ¥7,700 / B ¥6,600 / C ~~¥5,500~~ SOLD OUT

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

■学生券 学生の方は残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合がございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

読響ホームページ

<https://yomikyo.or.jp/>